

令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」島守中学校区実践計画書

事務局 島守小学校（担当：職・氏名 教頭・高橋 裕介）

1 主題（1／2年次）

『主体的な学びを実現するための小中連携の在り方』
～聞く力の育成と振り返りを通して～

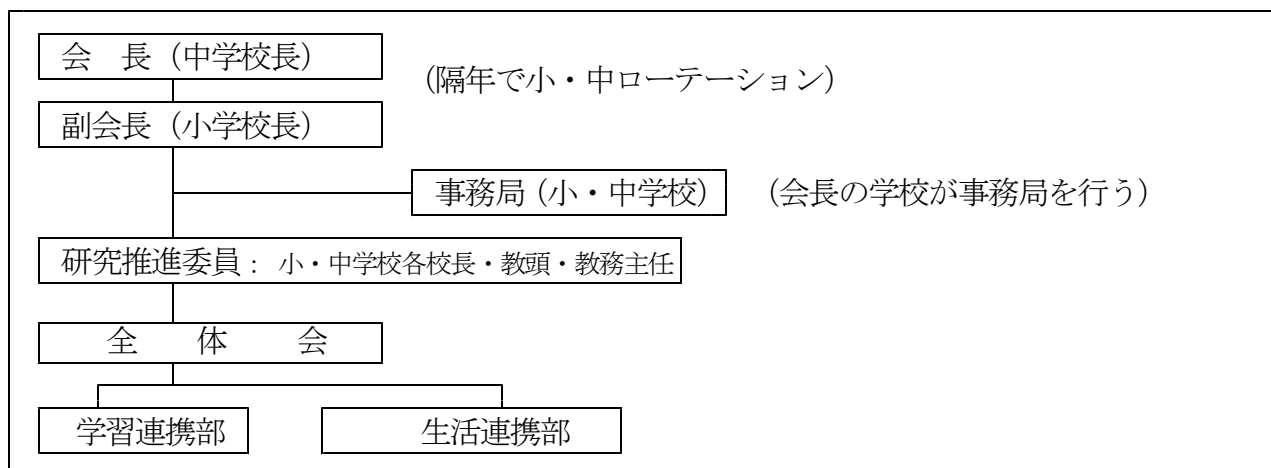
2 主題設定の理由

昨年度小学校では、振り返る場面で、授業中の児童の様子や習熟の時間をもとに振り返る視点を与えて書かせるようにした。その結果、わかったこと、わからなかったことだけではなく、本時の学習を理由づけながら振り返るようになり、次の学習へ向けて意欲を高める児童が見られるようになった。中学校では、振り返りを Chromebook 上に記録しておくことで、生徒の変容が一目でわかるようになり、一人一人の評価に生かすことができた。

一方、中学校では、生徒たちの主体性を育む場面や機会を設けてきたが、「自分の言葉や様々な方法で伝える力」の育成にはまだ課題があると感じている。小学校では、相手の話を聞き、自分なりに解釈をしながら考える力をつけることが必要と考えている。

そこで、今年度は中学校で課題としてあげられた「伝える力」と表裏一体となる「聞く力」の育成と、昨年度から継続して振り返りを研究し、授業実践や合同で行う行事等を通して、小学校、中学校9年間を見通して児童生徒を育てて主題に迫りたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 重点指導項目等

○授業づくり

- ・島守小学校、中学校ともに、小規模校であるため、小学校では複式学級がある。少人数の課題を小学校で行っている複式の授業（3・4年、5・6年）、中学校での授業の相互参観による学びの連続性を図る取組。（6月、11月）

○居場所づくり

- ・学校行事等、児童生徒の交流を深め9年間で子供を育てる視点で、①島守小・中学校大運動会（5月実施）②小中合同虚空蔵山清掃（5月実施）③中学校文化祭（小学生が中学校に来て活動を見る場）（10月）④小学校学習発表会（中学生が舞台運営をサポート）（10月）の取組。

○絆づくり

- ・小・中学校の協働によって島守地区への愛情を深めることを目指して、①島守小・中学校大運動会（5月実施）②小中合同虚空蔵山清掃（5月実施）の取組。